

平成20年版「あいち食育いきいきレポート」(案)の概要

1 性 格

- 平成19年度を中心とする県や関係団体等の主な取組及び数値目標の状況等を取りまとめた、初めての愛知県版「食育白書」といえるものです。
- 「あいち食育いきいきプラン」に基づく取組の状況について関係者の共通認識を深め、今後における食育の効果的な推進を図るための資料です。

2 作成上の留意点

- 県内における食育の取組事例をできるだけ多く掲載するように努めました。(県や関係団体等の取組42事例、県内における取組45事例 計87事例を掲載)
- 取組の様子を写真で紹介するとともに、表やグラフを取り入れ見やすいものとなるように留意しました。

3 レポートの内容

I プランの作成経過と普及啓発 (本文P 1～3)
 プランの作成経過と、プランの内容を広くPRするための普及啓発の状況について記述しました。

II 主な取組の状況 (P 4～51)
 プランに掲げた4つの項目ごとに取組事例を整理し、その概要をまとめました。県や関係団体等については、成果や今後の取組等についても記述しました。

- 1 (1) 県や関係団体等の取組 (12事例)
- ア バランスのとれた食生活の推進
- ・「オアシス21」での栄養相談コーナーの開設
 - ・夏休み親子料理研究隊の開催 [写真(1)]
 - ・“朝食をしっかりと食べよう!”をテーマとした小中学校等での活動 [写真(2)]
 - ・学校給食教室の開催、保育所での食育計画作成を促す研究会の開催
 - ・家庭教育テレビ番組での普及啓発、「学ぶ食フォーラム」の開催
- イ 生活習慣病等の予防対策
- ・生活習慣病予防のための啓発活動、歯の「健口フェスティバル」の開催 [写真(3)]
 - ・生活習慣改善のための食事体験型教室の開催
- ウ 食品表示の適正化や食の安全に関する普及啓発
- ・食品表示の適正化についての取組、健康食品の正しい知識の普及を図るセミナー
- (2) 県内における取組事例 (14事例)
- ・保育園や小学校での取組 [写真(4)]、企業の社員食堂や地域での活動事例 [写真(5)]
 - ・大学と小学校とが連携した「食事バランスガイド」普及のための取組 [写真(6)]
 - ・高校生と地域等の協力による健康弁当の開発 など



(1) 食事バランスガイドの色塗り



(2) 給食時の指導



(3) 口臭測定体験



(4) 保育園での食育活動



(5) カロリー等を表示したメニュー



(6) 「食事バランスガイド」を用いた栄養教育

<p>2</p> <p>豊かな心を育むために</p>	<p>(1) 県や関係団体等の取組 (14事例)</p> <p>ア 食を通じたコミュニケーションの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おうちでごはんの日」の設定 [写真(7)]、 ・中学校における地域との交流活動、PTA活動における体験活動の実施 <p>イ 体験を通じた食の理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小学校等での農業体験や調理実習、学校給食調理コンクールの開催 ・生産者との交流を目的とした体験活動の企画 [写真(8)] <p>ウ 食文化の理解と継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「愛知を食べる学校給食の日」の実施 [写真(9)] ・郷土料理等の伝承活動にかかる研究発表会の開催 など <p>(2) 県内における取組事例 (18事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園や小学校での取組 [写真(10)]、学校と地域が連携した体験活動の実施 ・あいちの伝統野菜の栽培や調理 [写真(11)] ・イベントでの箸の持ち方をチェックするゲームコーナーの設置 [写真(12)] ・名古屋食フェスタの開催、大学から地域への食育の啓発の取組、生産者団体による取組 など 	 <p>(7) 啓発ポスター</p>  <p>(8) 子牛のほ乳体験</p>  <p>(9) 愛知を食べる学校給食の日</p>  <p>(10) 保育園で野菜栽培</p>  <p>(11) 宮重大根の収穫</p>  <p>(12) 箸で大豆を運ぶゲーム</p>
<p>3</p> <p>環境に優しい暮らしを築くために</p>	<p>(1) 県や関係団体等の取組 (7事例)</p> <p>ア 環境に配慮した食生活等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と環境についてのシンポジウム [写真(13)] ・水族館での海の環境等についての企画展の開催 <p>イ 地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農林水産物を活用した親子料理教室、本県農産物のPR活動 [写真(14)] ・「ふるさと農林水産フェア・秋」の開催 <p>ウ 農業等における環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコファーマー」の認定の推進 ・使用済み天ぷら油を精製したバイオディーゼル燃料 (BDF) によるトラクターの走行 [写真(15)] <p>(2) 県内における取組事例 (10事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食や地域の料理教室での地元農産物利用 [写真(16)]、[写真(17)] ・地元農産物を使った体験活動 [写真(18)]、環境に配慮した料理教室の開催 ・生協店舗におけるバイオマス・プラスチック容器の回収調査 ・食品関連事業者による食品循環資源の再生利用の取組 など 	 <p>(13) 食と環境のシンポジウム</p>  <p>(14) 県産牛乳のPR</p>  <p>(15) BDFを使用したトラクター</p>  <p>(16) 学校給食で甘味づくり</p>  <p>(17) 米粉パンの給食</p>  <p>(18) 落花生のもぎとり体験</p>
<p>4</p> <p>食育を広めるために</p>	<p>(1) 県や関係団体等の取組 (9事例)</p> <p>ア 食育にかかる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校栄養職員の育成 [写真(19)] ・食育推進ボランティア、「輝きネット・あいちの技人」の育成 <p>イ 食育ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育県民大会の開催 [写真(20)] ・地域における食と農の交流フォーラムの開催 [写真(21)] ・「食育ネットあいち」の開設 <p>ウ 食育の普及啓発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農協による食農教育の推進、食育標語の募集 [写真(24)] ・食の安全・安心に関する調査の実施 <p>(2) 県内における取組事例 (3事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育シンポジウムの開催、食育サポート企業団の結成 [写真(22)]、 ・統計グラフコンクールにおける食をテーマとした作品の紹介 [写真(23)] 	 <p>(19) 学校栄養職員研修会</p>  <p>(20) 食育県民大会</p>  <p>(21) 食と農の交流フォーラム</p>  <p>(22) あいち食育サポート企業団の結成</p>  <p>(23) 愛知県統計コンクール作品</p>  <p>(24) 食育標語の表彰</p>

Ⅲ 数値目標の状況（P52～55）

プランにある13項目の数値目標（H22年度）のうち、平成19年度は8項目の数値目標について状況を把握しました。

1 健康な体をつくるための目標	○ 肥満者の割合 小学校2年生 小学校5年生 中学校2年生	基準年	現状値	目標値	肥満者の割合については、基準年に比べ小学校2年生では0.3ポイント増加し、小学校5年生と中学校2年生ではそれぞれ1.8ポイント、0.4ポイント減少しています。引き続きバランスのとれた食生活を推進します。
		5.5% (H17)	5.8% (H19)	5%以下	
		9.5% (H17)	7.7% (H19)	8.5%以下	
		9.3% (H17)	8.9% (H19)	8.3%以下	
	○ 健康な歯を持つ人の割合 3歳ですべての歯（乳歯）が健康な人 小学校3年生ですべての歯（永久歯）が健康な人	78.7% (H17)	81.5% (H18)	90%以上	健康な歯を持つ人のうち3歳児については基準年に比べ2.8ポイント、小学校3年生については3.0ポイントの増加となっています。引き続き歯の大切さについて啓発活動を推進します。
		80.6% (H17)	83.6% (H18)	90%以上	
2 豊かな心を育むための目標	○ 学校給食における地場産物を使用する割合（食品数の割合）	27.7% (H17)	27.9% (H19)	35%以上	基準年に比べて0.2ポイント増加。関係者が連携して引き続き地場産物の利用を推進します。
	○ 農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合	38.1% (H18)	45.9% (H19)	80%以上	基準年に比べて4市町増えて7.8ポイントの増加。引き続き農林漁業体験学習の実施を促します。
3 環境に優しい暮らしを築くための目標	○ 県内産の食材を積極的に扱う 「いいともあいち推進店」の登録数	336店 (H17)	591店 (H19)	500店以上	いずれも目標に達しましたが、さらに「いいともあいち推進店」の登録数や「エコファーマー」の認定数の増加を推進します。なお、新たな目標数値の設定については、他計画との整合をとりながら検討していきます。
	○ 環境に配慮して生産活動を行う農業者 「エコファーマー」の認定者数	2,200人 (H16)	3,580人 (H19)	3,500人以上	
4 食育を広めるための目標	○ 「愛知県食育推進ボランティア」の登録数	388人 (H17)	437人 (H19)	500人以上	基準年に比べて49人増加。引き続き登録を進めます。
	○ 食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	0% (H18)	6.6% (H19)	80%以上	61市町村のうち4市町が作成。引き続き作成を促します。

Ⅳ 次年度に向けて（P56～60）

最近の食や食育に関する動きへの対応も含めて、プランに掲げた取組を着実にを行うことにより、食育を一過性のものとせず、継続的な県民運動として広めていくため、今後とも県や関係団体等の取組を充実するとともに、県内における様々な主体による活動が活発に行われるよう促していきます。

参考資料、県や関係団体等の取組一覧（P61～89）

プランで位置づけた県や関係団体等の取組を一覧表で整理しました。

4 レポートの活用

- 各県民プラザで県民の皆様にご覧いただけるようにします。また、県ホームページの「食育ネットあいち」に掲載します。（<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/index.html>）
- 県や関係団体、市町村等の食育を推進する関係者に印刷物を配布し、取組の参考に資するとともに食育についての気運の盛り上げを図ります。